

臨時休業の継続 及び学校再開に向けた段階的な対応 の充実について

令和2年5月18日更新

学校の臨時休業は変更せず、5月31日までといたします。

国の緊急事態宣言解除及び県立学校の再開前倒し等の動向が、報道等により伝えられているところですが、改めて検討をした結果、当市における臨時休業は、引き続き5月31日までといたします。

現在、各学校において、学校再開に向け、段階的に教育活動を進めているところですが、今後も、児童生徒が円滑に学校生活を再開できるよう、対応の充実を検討してまいります。

※ 学校規模等により状況が大きく異なることから、時間や登校方法等については、学校によって異なります。詳細については、各学校からのお知らせをご覧ください。

(更新) 休業中の児童生徒の過ごし方について

人と身体的距離をとること、マスクをすること、手洗いをすることをはじめとする、「新しい生活様式」に基づいた生活を心がけるとともに、学校再開に向けて生活習慣を整えるなどの準備をすることとなります。くわしい例は、下記に示しました。

なお、再開後の部活動、学校施設開放及び夏季休業日の変更については、現在検討中です。

決定次第お知らせいたします。

ご心配をおかけしておりますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。なお、変更につきましては、随時お知らせいたします。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ませ
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はずいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- ずれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

厚生労働省ホームページより